



あいづばんげ



議会だより

201号

令和3年4月23日発行
福島県会津坂下町議会

坂下マザーズ

設立 平成14年（2002年）日本テレビ「地球は女で回ってる？」という番組の〜主婦たちのオーケストラ〜という企画をきっかけに結成されました。もうすぐ20年になります。

活動内容

町のイベントに参加したり、施設を訪問して演奏しています。バイオリン、ピアノ、チェロ、コントラバス、フルート、クラリネットの楽器編成で、懐かしい曲や人気曲をマザーズ用にアレンジして演奏しています。「春日八郎倶楽部」の方々の交流もあり、カラオケ大会の伴奏として参加させていただきました。

問い合わせ先

代表 新井田恵美子（雪花） 電話83-25559

第1回定例会（3月議会）目次

- 第1回定例会 「町長の施政方針」…………… 2～3P
- 第1回定例会主な提出議案の内容…………… 4～5P
- 予算特別委員会審議内容…………… 6～7P
- 請願・陳情の審査、討論内容…………… 8～9P
- 一般質問…………… 10～15P
- みんなのひろば・編集後記…………… 16P

ひとりが

続可能なまち

に向かって……

齋藤町長

施政方針演説



あらまし

3月4日から17日までの14日間、町長より条例11件、予算16件、その他4件、合計31議案が提出され、全て可決しました。また、請願2件、陳情1件が各常任委員会に付託され、請願2件を採択し、陳情については継続審査となりました。また、議員提出議案2件も可決しました。

①令和3年度策定予定の主要な計画

- 10年後のまちの姿を見据えた新しい視点でのまちづくりを進めます。
- DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し行政改革や組織機構改革等に取り組みます。
- 第2期会津坂下町まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 第3次会津坂下町行政経営改革プラン
- 会津坂下町国土利用計画及び会津坂下町国土強靱化計画
- 会津坂下町地域防災計画及び会津坂下町水防計画

②新型コロナウイルス感染症対策

- 65歳以上の高齢者のワクチン接種について、迅速な開始に向け準備を進めます。

③国保事業

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、診療控えが見られるなど医療費全体が減少しました。令和3年度もその傾向は続くものと予想します。国・県と連携を密にし、事業の適正運営を図ります。

④介護保険事業

- 「みんながつながる生きがいのある健康長寿社会」を基本理念とし、令和3年度から令和5年度までの3年間を計画期間とする、第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定しました。
- 地域で高齢者を支え合うしくみづくり、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自立した日常生活を営めるよう支援していきます。



人口が減少しても**活力**があり、町民一人一人 生きがいを持てる**持**

⑤建設行政

- 橋梁整備事業・・・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、長井橋の修繕工事のほか14橋の定期点検を進めます。
- 下水道整備事業・・・坂下中央処理区において約1.4km、坂下西処理区において約270mの管渠埋設工事を進めます。

⑥農業行政

- 米政策・・・「米づくり」にこだわり、農家所得の確保を最優先課題に位置付け、政府備蓄米と飼料用米の作付を生産調整の大きな柱として水稻作付による需給調整推進を図っていきます。
- 林業政策・・・令和元年度に策定した年次計画に基づき、令和3年度も勝方・大村地区周辺の森林整備を実施予定です。



⑦教育行政

- G I G Aスクール構想に基づくICT環境の整備については、小中学校へのタブレット端末等の機器は全て納品済みとなり、各種設定作業を進めています。
- 新型コロナウイルス感染症のリスクを可能なかぎり低減したうえで、今後も保護者の協力を得ながら教育活動を実施していきます。



⑧子育て支援

- 令和3年度の保育施設入所者について、待機児童がゼロで迎えられる予定です。
- 子供のためになる、切れ目のない子育て支援を継続して行い、子育てに喜びを感じられ、子どもが心身ともに健やかに育つ町を目指します。

主な提出議案の内容

条 例

★議案第3号「町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例」

町長は、給料月額30%を減額、副町長及び教育長は給与月額15%を減額する。実施期間は、町長の任期が令和3年6月15日をもって満了することから、令和3年4月1日から令和3年5月31日までの2か月間とする。

★議案第12号「会津坂下町坂本コミュニティセンター条例を廃止する条例」

大沢区地内に町が所有する「坂本コミュニティセンター」を、会津坂下町公共施設総合管理計画における町有財産の適正化方針により「集会所に類似する町有財産」を立地する行政区へ譲渡するため、その条例を廃止するもの。

★議案第13号「会津坂下町勤労者交流センター条例を廃止する条例」

朝立区地内に町が所有する「会津坂下町勤労者交流センター」を、会津坂下町公共施設総合管理計画における町有財産の適正化方針により、「集会所に類似する町有財産」を立地する行政区へ譲渡するため、その条例を廃止するもの。

そ の 他

★議案第14号「町道認定について」

- ①五浪美術記念館の北側を起点とし、町道「古坂下線」までのコの字型の幅員6.0m、延長129.5m。
- ②主要地方道「会津坂下・会津高田線」から町道「勝大線」を南方向へ約70m地点を起点とし、町道「中岩田2号線」までの幅員6.0m、延長129.5m。
- ③町道「勝大線」から町道「中岩田2号線」を西方向へ約20m地点を起点とし、北方向へ延びる幅員6.0m、延長46.1m。

★議案第15号「財産の無償譲渡について」

「会津坂下町坂本コミュニティセンター」を大沢区に無償で譲渡する。

★議案第16号「財産の無償譲渡について」

「会津坂下町勤労者交流センター」を朝立区に無償で譲渡する。

★議案第33号「工事請負契約の締結について」

工事請負契約の目的は「会津坂下町テレワークセンター建設工事」。
入札の方法は、制限付一般競争入札総合評価方式特別簡易型です。
契約の金額は、税込み9,680万円で、契約の相手方は、福島県河沼郡会津坂下町大字牛川字砂田565番地、マルト建設株式会社です。

議案第12号及び15号と、
議案第13号及び16号は
連動しているよ

会津坂下町テレワーク センター建設工事

テレワークセンターは・・・
コロナ禍でも密をさけて仕事ができるように建設するよ。



★建設場所

旧若宮幼稚園及び若宮コミュニティセンター用地（大字牛川字寿ノ宮地内）。

★工事概要

木造平屋建て、延床面積297.28㎡。

★スケジュール

旧若宮幼稚園を解体しテレワークセンターを新築し、引っ越し後に若宮コミュニティセンターを解体工事完了は令和3年9月末を予定しています。



審議案件に対する賛否の状況 (賛否が分れた議案)

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	目黒克博	蓮沼文明	物江政博	赤城大地	横山智代	渡部正司	小畑博司	佐藤宗太	山口享	渡部順子	五十嵐一夫	酒井育子	青木美貴子	水野孝一
議員提出議案第2号 学校における甲状腺検査の継続に関する意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長
上記以外の議案は賛成全員で可決しました。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議長は採決に加わりません														

一般会計

令和2年度会計補正予算の主な内容

会計名	補正額	補正後	主な補正内容
一般会計補正予算 (第11号)	▲2,865万1千円	94億5,720万5千円	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスワクチン接種にかかる費用の増 各種事業費の確定による増減

特別会計

会計名	補正額	補正後
国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	751千円	19億17万円
介護保険特別会計補正予算(第5号)	2,304千円	23億2,687万2千円
後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	▲876千円	1億9,438万6千円
下水道事業特別会計補正予算(第5号)	▲935千円	5億7,609万3千円
坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第5号)	1,886万2千円	2億4,352万9千円
農業集落排水事業特別会計補正予算(第5号)	▲1,238千円	7,090万8千円
水道事業会計補正予算(第4号)	「水道事業収益」 ▲610万円 「水道事業費用」 ▲284万8千円 「税抜当期純利益」 ▲29万円	「水道事業収益」 5億3,140万2千円 「水道事業費用」 4億6,617万5千円 「税抜当期純利益」 5,885万3千円

前年度より
4億3,000万円増

「げがいい」と思えるまちにするため な予算



山口 享 委員長
全て全員賛成であり、議会と執行部が一丸となり、財政健全化へしっかりと取り組む姿勢の現れであったと思えました。

横山 智代 副委員長
慎重かつ活発に審議がなされました。

あらまし

3月11日及び15日に議場において、委員14名全員出席のもと、予算特別委員会が開催されました。一般会計予算、特別会計予算、計8件について審議を行い、全て全員賛成で可決しました。

主な質疑・答弁内容

一般会計予算について	
質問	答
① コロナ禍での町税収減による事業への影響は。	多少ありますが、臨時財政対策債を活用していきます。
② 町長の施政方針の中で今年度は業務改善等の行政改革や組織機構改革の年であり、組織機構の見直し状況等を見極めたくて12月の定例会までに示すとのことですが、現在構想の途中ではありますが、どのような方針なのか伺う。	職員数、そして職員の男女の比率が問題となっており、近年採用した職員の6割が女性です。将来の坂下町のために抜本的に考えていかなければならない時期になっていると感じています。条例などの改正が伴うため、12月定例会までには案を示し翌年4月から万全な組織体制で職務に専念したいという考えです。
③ 獣害対策の予算は増えているが、電気柵の予算が少なく取り合いになるのではないか。	一つの農家に対し上限10万円の補助として、令和3年度は5件分を計画しました。行政区で行うような大規模な電気柵の設置については、中山間や多面的事業を活用し設置していただくことを基本とし、不足の場合は補正予算で対応したいと考えています。
一部を囲っても他に被害が出る心配がある。大規模な対策をしないと被害を防止することはできないと思うが、対策の方法について今後見直す考えはないのか。	町としても集落説明に伺い、対策の必要性や方法について町の考えを伝えていますが、集落単位での大規模な対策については、集落の理解や協力が無いと進めることが出来ないのが現状です。今後、国・県補助事業を活用した、集落ぐるみでの対策を推進していきます。

黙 祷

3月11日、東日本大震災及び東京電力第一原子力発電所の原発事故から10年目を迎え、午後2時46分に黙祷を捧げました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、そのご家族や被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

令和3年度 当初予算 **72億5,000万円** やっぱり “ばん 積極的

質問	答
④町営スキー場周辺施設管理運営委託料の内容について伺う。 町営スキー場は現在使用していないが、今後も使用していない施設について委託料を支払い続けるのか。	単年度契約で、国有地79,829㎡分の賃借料と民有地の所有者2名に対し支払っています。 現状復帰の返還が条件であり、リフトの撤去費用等が高額のため、今後の財政状況を見ながら検討していきます。
⑤坂下厚生総合病院負担金についてどのように支払っていくのか。長期的計画があれば示して欲しい。	令和3年度から10カ年計画で返済予定です。令和3年度は経過措置である過疎債を活用し1億1千700万円を返済し、令和6年度までの財政健全化期間中は2～3千万円程度に抑え、その後残りを返済する計画です。
⑥小学校費の備品購入費で対象となる学校名および学年を伺う。また、来年度以降も順次交換していくのかも伺う。	令和3年度の小学校の備品購入費の机・椅子については、南小及び東小の新3年生100台及び新4年生の114台を予定しています。新5・6年生分については、今後できるだけ早期に更新できるように対応していきます。
⑦ふるさと納税寄付金について、昨年度の最高額と件数及び1件当たりの平均納税額はどのくらいか。	最高額は30万円が1件ありました。平均額は1万4千円であり、寄付が一番多いのは1万円のコースです。
⑧病児・病後児保育事業の今後の方向性について伺う。	ファミリーサポートの中で実施している形になっていますが実績はありません。保護者へアンケートを行ったところ、専門的なところに預けたいという要望もありますが、自分や家族で診ますという回答が多かったのも現状です。今後も関係機関と協議を継続し、保護者の想いを大事にしながら子ども支援の充実を図っていきたい。

国民健康保険特別会計について

質問	答
①人間ドック助成金は坂下厚生総合病院以外も認めるべきではないか。	坂下厚生総合病院は新築移転されるので内容の充実を図ります。

下水道事業特別会計について

質問	答
①使用料・負担金の収入が、総務費と管理費とほぼ同額、職員経費まで賄われていない状況について。	3年ごとに料金体系を見直ししながら充足率を高めていきたい。

一般会計主な歳入

★町 税	14億1,234万9千円
★地方交付税	30億1,862万円
★地方交付税	30億1,862万円

一般会計主な歳出

★新型コロナウイルス感染予防	6,805万9千円
★子育て支援・教育関係	8億949万6千円
★健康づくり・福祉の充実	15億2,298万9千円
★産業・商工業の振興	4億6,087万円



賛成

渡部正司議員

住民のための全ての事業にSDGsの考え方を活用し、各事業の目的・目標を明確に示したステップを高く評価します。指摘の一つ一つ真摯に取り組んだ様子がわかります。明確な目標もなく緊縮一点張りの印象だったこれまでの予算から脱却し、目的やあるべき姿を追うことを見据えた内容であると評価します。

賛成

佐藤宗太議員

『財政健全化』とともに『コロナ対策』に努められている中、非常に難しい予算編成だったのではないかと思います。社会変化に対応した行政運営、行政サービスの提供により、第6次会津坂下町振興計画に掲げたまちの将来像へ向かって着実に進んでいただくことを要望し賛成します。

賛成

五十嵐一夫議員

本案に対し賛成するものの、意見・要望を申し上げます。坂下高校が大沼高校に統合となりますが、令和3年度は統合の詳細が確定します。積極的に調整にあたっていただきたい。町長退職金について廃止減額の取り組みを、福島県内に会津坂下町から先陣を切って発信していただきたかった。コロナの影響で先行き不安ですが、夢と希望が膨らむ事業の執行に取り組んでいただくよう希望します。

賛成

酒井育子議員

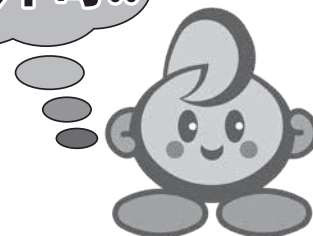
町長就任当初から事業の取捨選択と学校の適正化による地方債の返還を最重点とし、財政の健全化、人口減少、子育て環境の充実などソフト事業に重きを置き、過疎対策に取り組み、振興計画で示された予算になっている。財政厳しい中、今年度末には基金の増加や地方債残高の減少と明るい兆しが現れており、引き続き活力あるまちづくりに頑張る事を強く要望し賛成討論とします。

賛成

物江政博議員

財政健全化アクションプランに基づき、財政調整基金の確保など町財政の健全化が着実に前進していると感じます。厳しい財政状況にあっても、住民サービスの維持・向上に努めていくことが重要であり、当町の明るい未来が描けるよう、いっそうの努力と創意工夫を要望し、賛成討論とします。

頑張れ！
会津坂下町!!



令和3年度へ繰り越す事業

	No	事業名	繰り越し金額(千円)	完成予定
一般会計	1	地域コミュニティセンター運営事業	4,070	令和3年6月
	2	JR会津坂下駅公衆トイレ整備事業	21,000	令和3年6月
	3	テレワークセンター整備事業	108,709	令和3年8月
	4	立木観音公衆トイレ整備事業	16,129	令和3年6月
	5	戸籍総合システム更新事業	6,490	令和3年4月
	6	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	46,963	令和3年9月
	7	農村地域防災減災事業	3,218	令和3年11月
	8	ふくしま森林再生事業	46,473	令和3年7月
	9	橋梁整備事業	32,890	令和3年7月
	10	坂下東第一土地区画整理事業(一般会計繰出)	1,000	令和3年7月
	11	公共下水道事業(一般会計繰出)	5,228	令和3年11月
	12	農業施設災害復旧業務	10,000	令和3年11月
下水特会		公共下水道事業	86,368	令和3年7月
坂下東特会		坂下東第一土地区画整理事業	19,550	令和3年7月

請願・陳情の審査

	受理年月日	件名	請願・陳情者氏名	紹介議員	付託委員会	審査結果
請願第1号	令和3年2月17日	国に対し、「再審法（刑事訴訟法の再審規定）の改正を求める意見書」の提出を求める請願書	福島市舟場町3-26 日本国民救援会 福島県本部 会長 広田 次男	五十嵐一夫 小畑 博司	総務 産建	採択
請願第2号	令和3年2月22日	学校における甲状腺検査の継続に関する請願	河沼郡会津坂下町大字大 沖字上野1170-1 会津の大地と健康を考える会 会長 千葉 親子	佐藤 宗太 渡部 正司	文教 厚生	採択
陳情第1号	令和3年2月22日	「江川綱弘いじめ事件再調査」に関する陳情書	会津坂下町大字五ノ併字 田中丙91番地 江川 和弥		総務 産建	継続 審査

請願について
私はこう考える

討 論



賛成

横山智代議員

えん罪は国家による最大の人権侵害の一つです。再審は無実でありながら罪に問われた人々を救済する最終手段です。えん罪被害者を一刻も早く救済するためにも地方からも声をあげる事が必要です。

賛成

赤城大地議員

刑事訴訟法とはそもそも、刑法を実現するための手続法であることから、「犯罪が抑止された安心安全な社会」を円滑に享受することができなくても刑事訴訟法の意味をなさない。しかしながら刑事訴訟法において再審の手続きに不透明な部分があるという声が一定数ある以上、その是正を求めていくことは国民にとって、町民にとって有意義であると考え、賛成の討論とします。

請願第1号

賛成

小畑博司議員

県民健康調査の甲状腺検査は原発事故当時18才未満だった方を対象に行われており、この検査によって早期にガンが見つかられています。学校ごとの検査がなくなれば受診者は少なくなってしまいます。これからも対象者を見守っていくには学校ごとの検査の継続が必要です。

賛成

渡部正司議員

請願の甲状腺検査については「過剰診断」との意見があるが、診断は医師の裁量です。発見された甲状腺がんの原因が被爆ではないとするなら、そのエビデンスを確立する上でも継続した検診が求められます。結果的に検査を継続することは子どもたちの健康の見守りに寄与するものです。

請願第2号

賛成

横山智代議員

事故当時の被ばく線量は今なお不透明であり、また影響の受け方も個人差があります。そんな中、多くの子供たちが精神的に不安をかかえています。子供たちの身体と心の健康の為にも継続すべきです。

反対

山口享議員

この請願の論点は、各学校で行われている集団甲状腺検査の実施であります。当初は、県民の安全安心につながるものでしたが、10年が経過し、そのメリットが少なく、被ばくの影響が評価できないほど線量は低くなりました。無症状の子どもたちを対象とする今の検査は、過剰診断であります。当会津地区の学校では、その必要がないものと判断し反対といたします。